

「船用機関整備管理システム」マニュアル

【概要】

「船用機関整備管理システム」は、船用機関整備業務の合理化のため作成しました。このシステムではデータベース機能を用いて、一度入力したデータの再利用、入力作業の簡素化などにより事務の合理化を行い、出来るだけペーパーレスにして、資源やスペースの無駄を省こうとするものです。

このシステムの主な機能は次のとおりです

1) データの管理

顧客データ、船舶・機関データ、定期メンテナンスデータなどをコンピューターに記録し、必要なときに素早く取り出しチェックすることが出来ます。

2) 事務処理補助機能

次のことが出来ます。

- ・ 定期メンテナンス結果入力作業の合理化及びそのデータを用いた次回メンテナンス時期のチェック、整備協会通知データの作成
- ・ S S 整備点検記録作成の合理化
- ・ 日報入力作業の合理化及び日報データを用いた納品書、請求書の作成

3) 印刷機能

定期メンテナンス報告書、納品書、請求書の印刷が出来るほか、それらの印刷記録を元にタックシールに宛名印刷も出来ます。

なお、フォルダ「mesa¥help」の中に「help.html」があります。ダブルクリックするとインターネットエクスプローラでマニュアルを見ることが出来ます。目次と各説明がリンクしているなど読みたい部分を素早く見つけることが出来るのでご利用下さい。

1. 動作条件

このプログラムは、Windows XP Professional SP2、Windows Vista Business および Windows 7 Professional で動作確認を行っています。

ハードディスクにインストールする場合に必要な空き容量は、プログラム本体が80メガバイトです。データに必要な容量は、使い方により大きく変わりますが、数ギガバイトで十分と思われます。

このシステムは、データベース管理プログラム MySQL (5.1.30) を利用しています。他のソフトで MySQL を使用している場合、この「船用機関整備管理システム」を使用することができません。

このプログラムは、USBメモリーをコンピューターに差し込み、一部の共用ファイルをハードディスクにコピーする事で使用出来ます。この場合、入力したデータはUSBメモリに保存されます。試験的に使う場合はそのまま十分運用できますが、本格的に運用する場合にはUSB内の全フォルダ、ファイルをハードディスクにコピーしてお使い下さい。その際には試験的に入力したデータも用いることができます。

画面の画素数は通常のノートブックの1024×780で使えるようにしています。操作画面は大きさを固定していますので、これより小さい画素数では使えません。

このプログラムを運用して動作の不具合などが見つかった場合は、当協会にご連絡ください。動作の不具合についてはできるだけ速やかに修正する様にいたします。

なお、このプログラムの運用に関連して損害が生じても、当協会では保証できません。予めご了承ください。

2. インストール

1) USBメモリで運用する場合

USBメモリーの中のフォルダ Mesa の中の「OCXreg.bat」を実行してください。Cドライブにフォルダ「Mesa」が作られ、そこに共用ファイルがコピーされ、更にレジストリに登録されます。

「OCXreg.bat」の実行手順は次のとおりです。

- ① スタートメニュー→すべてのプログラム→アクセサリ を選択
- ② アクセサリの中のコマンドプロンプトを右クリックし「管理者として実行」をクリック、「ユーザーアカウント制御」で「はい」をクリック
- ③アクセサリにある「コマンドプロンプト」にカーソルを当て右クリックする
- ④管理者として実行をクリック
- ⑤USBメモリのドライブ No が E の場合、「E:\mesa\OCXreg.bat」と入力してリターンキーを押す。(入力カーソルは「>」の次。)

なお、Windows XP の場合③は右クリックではなく左クリック、④は必要ありません。

2) ハードディスクにコピーして運用する場合

まず、USBメモリの中のフォルダ「Mesa」をフォルダごと C ドライブにコピーし、その後、C ドライブフォルダ「Mesa」中の「OCXreg.bat」を実行してください。USBメモリで試験運用していた場合も、同様にフォルダごと C ドライブにコピーし、「OCXreg.bat」を実行してください。「OCXreg.bat」を実行するときのドライブ No

はCになります。

3. 起動など

プログラムの起動は MySQL、「Mesa.exe」の順に行う必要があります。プログラムを起動する際、ウィルス対策ソフト、ファイアウォールの設定によっては MySQL、「Mesa.exe」それぞれについてを動作させてよいか聞いてきますのでOKして下さい。

1) MySQL の起動

フォルダ「Mesa」の中の「mysql_strat.bat」をダブルクリックして MySQL を起動してください。この際出来る MS-DOS プロンプトは消さず、最小化するようにしてください。MySQL を停止する場合は、フォルダ「Mesa」にある「mysql_stop.bat」をダブルクリックします。

USBメモリーを取り外す場合、管理システムを終了するだけでなく、MySQL を停止しないと「安全に取り外し」できませんのでご注意ください。

プログラムをハードディスクにコピーし、本格運用する場合には、MySQL をコンピュータの起動の際自動的に起動するようにした方が便利です。自動起動にする場合、フォルダ「Mesa」中のフォルダ「MySQL」にある「mysql_installservice.bat」を使います。

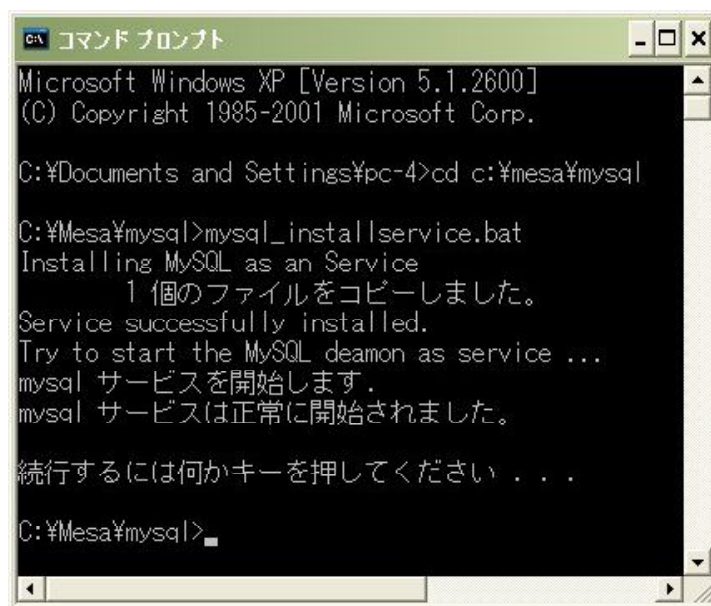
Windows XP では

スタートメニュー→マイコンピュータ→ローカルディスク (c) → mesa → mysql
と選択しその中の「mysql_installservice」（設定より「mysql_installservice.bat」と表示される）をダブルクリックして下さい。

Windows Vista と Windows 7 では次の手順で行って下さい。

- ① スタートメニュー→すべてのプログラム→アクセサリ を選択
- ② アクセサリの中のコマンドプロンプトを右クリックし「管理者として実行」をクリック、「ユーザーアカウント制御」で「はい」をクリック
- ③ コマンドプロンプトの中で「cd c:¥mesa¥mysql」と入力しリターンキーを押す

(cd の後ろは半角スペース)。次に「mysql_installservice.bat」と入力しリターンキーを押す。最後に「mysql サービスは正常に開始されました」と表示されますので、コマンドプロンプトを閉じて下さい。



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:¥Documents and Settings¥pc-4>cd c:¥mesa¥mysql
C:¥Mesa¥mysql>mysql_installservice.bat
Installing MySQL as an Service
  1 個のファイルをコピーしました。
Service successfully installed.
Try to start the MySQL daemon as service ...
mysql サービスを開始します。
mysql サービスは正常に開始されました。
続行するには何かキーを押してください . . .
C:¥Mesa¥mysql>
```

一度設定すれば次からは自動起動するようになります。

MySQL を起動したコンピューターは、LANで接続している他のコンピューターに対しサーバーとして機能します。フォルダー「Mesa」を他のコンピューターにコピーし、必要な接続設定【9. 1）を参照のこと】をすることにより、そのコンピューターで同じデータを使って作業することができます。この場合 MySQL を不用意に停止しますと他のコンピューターで作業した内容が無駄になる可能性があります。ご注意ください。

2) 船用機関整備管理システムの起動

「Mesa」フォルダーにある「mesa.exe」をダブルクリックして起動します。

4. ログイン

所属と氏名を選んでログインボタンをクリックします。仮設定のパスワードは管理部門、その他システム管理者が「12345」、技術部門の者が「54321」です。

パスワード、権限は個人別に設定されます。設定した権限により、従業員（パスワード、権限を含む）の登録、データのバックアップと復元はシステム管理者のみ、請求済みの請求書の変更はシステム管理者と経理担当者（管理部門）しかできないようになっています。

実際に運用する際には、最初に従業員の登録が必要です。シ

ステム管理者（初期設定では所属：その他、ユーザー：システム管理者）としてログインし、従業員登録、パスワード、権限の設定を行ってください。【7. 5）を参照のこと】



メニュー

船舶機関整備管理
システム

所 属 管理部門

ユーザー 山田花子

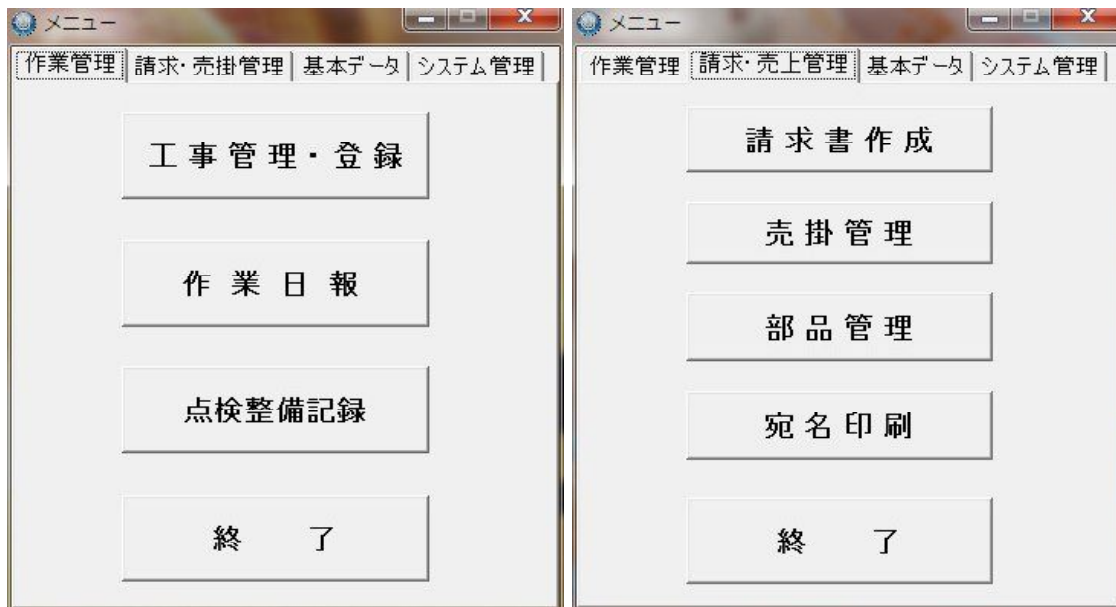
パスワード password

ログイン

中止

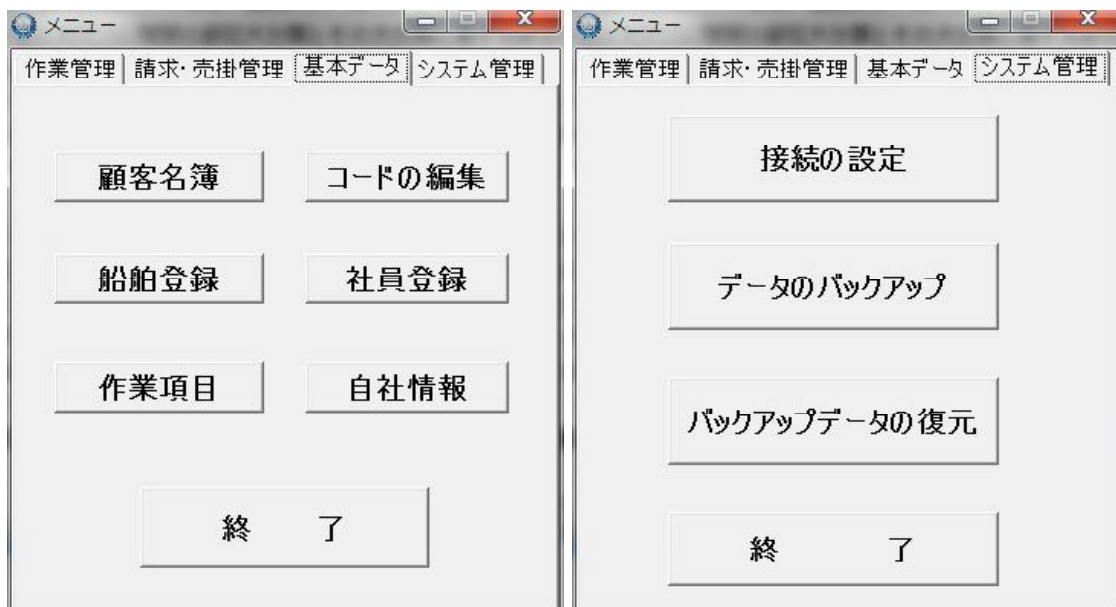
5. 各部の説明

メインメニューは、次の4ページにわかれています。各ページは上のタグをクリックすると切り替わり、ページ内のボタンをクリックすると操作画面が表示されます。作業管理、請求・売上管理は通常の業務、基本データは顧客、船舶データの登録など、システム管理は接続の設定、データのバックアップなどを行う際に使います。



作業管理メニュー

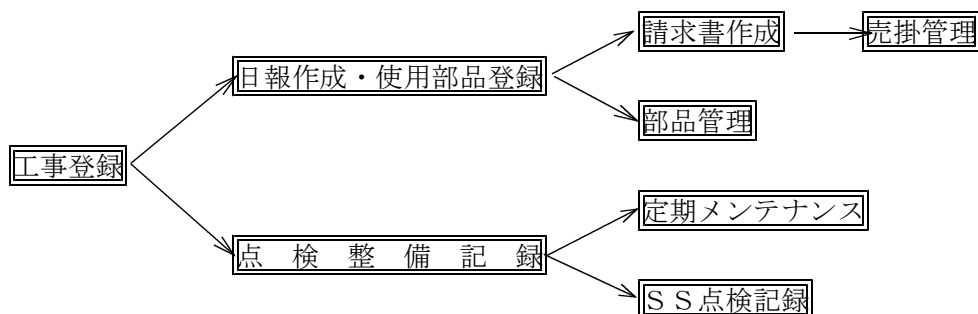
請求売掛管理メニュー



基本データメニュー

システム管理メニュー

基本的な作業な流れは次の通りです。各作業は下図のメインメニューのボタンをクリックして行いますが、工事登録せずに日報作成に入ってしまった場合にも工事登録画面を呼び出せるなど、必要な場合は元に戻ってデータ入力することもできます。



1) 工事登録

日報の作成、定期メンテナンス記録の作成などの際、あらかじめ工事登録した船主と船名のみが表示され、選択出来るようになっています。従って工事登録では船主と船名だけ入力すれば他の作業は行えますが、工事区分、工事開始、終了時期、工事費（請負あるいは目標値）、忘備用の記事も入力でき、必要な場合に参照できます。

工事終了、請求書作成終了した場合は、該当個所にチェックを入れることにより、日報、請求書などの入力で、選択画面に表示されなくなります。

画面は、下部の表が一覧、上部がデータの編集用の個別データの欄です。個別データの船主、船名、工事区分は、基本データ登録されたものが表示され、選択できます。

一覧表に表示するデータの切り替

え、検索・絞込は、選択の項目のチェックを変更することで行います。

船主、船名が重複して登録された場合、日報の作成画面等でも重複して表示されますので、必要に応じ整理してください。（工事区分は表示されません。）

番号	船主名	船名	工事区分	工事開始	終了予定
5	株式会社 東京	十和田丸	検査(海難)	09/04/20	09/04/25
6	旭運輸(株)	第1旭丸	中間検査	09/04/20	09/04/26
7	知床五湖観光	第1美果丸	定期検査	09/07/08	09/07/16
8	モーダルシフト社	フェリー鳥海	検査(分割・継続)	09/07/05	09/07/14
12	春日井船社	第8春日井丸	検査(海難)	09/07/20	09/07/21
14	株式会社 東京		部品販売		
15	自社		その他		
16	株式会社 東京	十和田丸	検査(指定)	09/08/03	09/08/05
17	(有) 鋸南水産	第1大漁丸	検査(分割・継続)	09/08/07	09/08/11

日報入力画面では、まず開始時刻と終了時刻を入力して下さい。開始時刻と終了時刻が逆になっている時など正しく入力されていないと、エラー表示が出て保存できません。

船主、船名は工事登録したもの（工事終了となっていないもの）が表示されるので選択してください。必要な船主、船名が登録されていない場合は、この画面から工事登録画面を表示し、登録することもできます。

作業部位、作業項目、作業内容は、「基本データ」の「作業項目」【7. 3）を参照のこと】で入力したデータを選択入力するようになっていています。一部すでに入力してありますが、会社の実情にあわせ、予め入力または変更しておいてください。

開始	終了	船主	船名等	作業部位	作業項目	作業内容	部品等
10:00	11:00	旭運輸(株)	第1旭丸	軸系・プロペラ	プロペラ抜き出し	プロペラ付根部カラーチエツ	部品等
11:00	11:00			部品販売			部品等
11:01	12:01	モーダルシフト	フェリー鳥海	主機	燃料油系	燃料噴射弁分解整備	部品等
13:00	15:00	株式会社	十和田丸	軸系・プロペラ	ZINC交換		部品等
15:00	17:00	自社		自社作業	打合せ・会議		部品等
							部品等
							部品等
							部品等

部品については作業登録した船毎に「交換部品等」ボタンをクリックすると、部品入出庫画面が表示されるので、そこで入力します。

部品入出庫画面では、下部の表から部品を選択しクリックすると上の表にコピーされますので、数量を入力して下さい。必要な時は単価も変更できます。下部の表に部品が表示されない場合（登録されていない）は、「新規部品登録」ボタンをクリックし追加します。【新規部品登録は 5）を参照のこと】

なお、日報入力画面から部品入出庫画面を呼び出したときは、入出庫、船主、船名等の変更は出来ません。

部品入出庫
- □ ×

入出庫登録

日付
09/07/28

入出庫
 出庫
 入庫

船主
旭運輸(株)

船名等
第1旭丸

作業登録

保存

削除

終了

部 品 名	仕入元・販売先	単 価	数 量	日 付	入出庫
軸受けボルト	旭運輸(株):第1旭丸	500	6	09/07/28	出庫

部品検索 (部品名をクリックすると上の表にコピーされます。)

設備 機関

メーカー ヤンマー

機種 YM110

部位分類

大 シリンダ・機関台

小 主軸受

検索対象

部品名

メーカーコード

ユーザーコード

検索内容(部分検索)

検索開始はリターンキー

部 品 名	メーカー(機種)名	メーカーコード	ユーザーコード	単 価	記 事
メインベアリング	ヤンマー	ETC1715	ETC1715	5000	
軸受けボルト	ヤンマー	ETC1716	ETC1716	500	

3) 納品書・請求書作成

既存の納品書・請求書を変更する場合は、4) 売掛管理で一覧表を表示し、変更対象を選択してください。

「請求先」(船主)を選択すると、工事中の船舶が表示され、「船舶」を選択すると日報で入力した作業内容と交換部品等が表示されます。(表の上のタグをクリックすると作業内容と交換部品が入れ替わり表示される。)

「選択行コピー」または「全部コピー」ボタンをクリックすると、該当箇所が下の請求内容のところにコピーされます。「金額計算」をクリックすると工事毎の小計と請求合計が計算入力されます。)

船名・工事、工事内容・使用部品の欄などについては印刷前に必要な修正を行ってください。(修正しても元の作業内容、交換部品のデータは変更されません。ただし、請求書番号が付けられますので、請求書にコピーしたかどうかはチェックできます。)また、「挿入」ボタンをクリックすると空白行が挿入され、そこに、説明、記事などを追加することができます。

立て替えた検査手数料など消費税のかからないものは、該当行を選択して「消費税」ボタンをクリックして下さい。工事内容・使用部品の欄に(消費税なし)と記載され、金額計算の際、消費税が参入されません。

値引きについては、右下の枠に記入してください。「金額計算」のクリックすると値引き後の金額、消費税、請求金額が計算計算されます。

請求書作成

請求日: 09/07/10 請求先: (有) 鋸南水産

請求Noが0でないものは、既に請求番号の請求書にコピー済みです。 終了

工事内容: 交換部品等

選択行コピー | 全部コピー | 未請求分のみ表示 | 工費計: 15,000 円

日付	作業員	作業項目	作業内容	記事	作業時間	金額	請求No
09/03/10	渡辺	信操舵機		異常なし	0:00	0	1
09/06/15	山田花子	定期メンテナンス			1:00	3,000	0
09/06/19	山田花子	主機:潤滑油系	潤滑油ポンプ点検整備		1:00	3,000	2
09/06/19	山田花子	主機:燃料油系	全般点検整備		1:00	3,000	2
09/06/19	山田花子	軸系	プロペラ:プロペラ付根部カ		1:00	3,000	2
09/06/19	山田花子	発電機	グリスマゲテスト		1:00	3,000	2

工事登録画面で請求書作成済みにしたものは表示されません。また、請求書の請求済みと各工事の請求書作成済みは連動してません。右の表で各項目の請求の有無を確認の上各工事の請求書作成済みにチェックを入れて下さい。

請求内容: 番号: 2 請求済み

削除 | 挿入 | 金額計算 | 印刷対象: 納品書 | 請求書 | 印刷 | 保存

日付	船名: 工事	工事内容: 使用部品	単価	数量	金額
09/06/15	第1大漁丸:検査(指定)	:定期メンテナンス	0		3,000
09/06/19	第1大漁丸:検査(指定)	発電機:マグテスト	0		3,000
09/06/19	第1大漁丸:検査(指定)	主機:潤滑油系	0		3,000
09/06/19	第1大漁丸:検査(指定)	主機:燃料油系	0		3,000
09/06/19	第1大漁丸:検査(指定)	軸系	0		3,000
09/06/19	第1大漁丸:検査(指定)	小計	0		15,000
09/06/18	釣り名人丸:検査(指定)	発電機:マグテスト	0		3,000
09/06/18	釣り名人丸:検査(指定)	小計	0		3,000

備考: 出精値引 1,000 円 消費税 850 円
備忘録: 合計金額 17,000 円 請求金額 17,850 円

請求書は2ページしか印刷できません。2ページに収まらない場合は請求書を分けて下さい。また、印刷行数が1ページに収まらない場合、値引き後金額、消費税、請求金額等は一括して2ページ目の最後に印刷されるようになっています。

「請求済み」をクリックしチェックを入れると、請求書の内容は確定され、経理担当者、システム管理者以外に変更できないようになります。

4) 売掛管理

「請求時期」と「船主」を入力すると該当する請求書が表示されます。「船主」については、分類の他、名前又は口座名（一部で可）で絞り込むことができます。

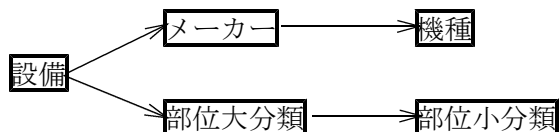
入金があった場合は、請求書を選択し入金額を金額欄に入力します。入金により残額が0となった場合は、データを保存する際に入金済み処理にチェックが入ります。なお、入金欄の口座は、自社の入金口座です。

「入金履歴」ボタンをクリックすると過去の入金状況（分割払いの時など）が表示されます。

番号	請求日	船主	請求メモ	請求額	入金額	入金日	残額	納品・請求	入金済
2	09/07/10	(有) 鋸南水産		17,850	13,850	09/08/01	4,000	済	
4	09/07/29	モーダルソフト社		28,350	14,000	09/08/17	14,350		
5	09/07/31	株式会社 東京海		32,550	0		0		

5) 部品管理

設備、メーカー、機種、部位大分類、部位小分類ごとに部品を登録し、在庫管理などを行います。分類の構成は下記の通りです。



例えば設備に機関を選択した場合、機関のメーカー、そのメーカーの機種が選択され、メーカーとは無関係に機関の部位大分類とその大分類に属する部位小分類が選択され、それらに所属する部品が表示されます。

部品の名称、メーカーコードなどについては表の中で直接編集します。新しい部品を追加する場合は挿入ボタンをクリックした後、追加された行に入力してください。ただし、同じメーカーの部品など機種が変わっても同じような部品がある場合は、対象部品を選択し「コピー・移動」ボタンをクリックすることによりコピー・移動ができ、それに必要な修正を行うことで楽に登録することができます。

コピー、移動の手順は次のとおりです。

- ①対象部品選択
- ②「コピー・移動」ボタンをクリック
- ③機種を変更し、部品欄をクリックしてコピー・移動先を選択
- ④「コピー」または「移動」ボタンクリック

番号	メーカーコード	部品名	販売単価	仕入単価	在庫量	更新日	ユーザーコード	記事	図ファイル名
1	YM110-1-2-1	シリンダライナー	100000	80000	0	99/12/30	YM110-1-2-1		
100	FZ1780	シリンダライナー	10000	8000	2	99/12/30	FZ1780		
3									

設備、メーカー、機種編集は「メーカー・機種編集」ボタンをクリックすることで編集画面（右図）が表示されます。設備に属する大小部位の編集は、部品管理画面（前ページ）のまま表を直接編集します。追加・削除が必要なときは「挿入」「削除」ボタンをクリックします。

部品分類表

保存 終了

設備分類 挿入

番号	設備名
1	機関
2	発電機・電気関係
3	軸系・プロペラ
4	ポンプ・こし器・弁他
5	操舵機
6	漁労機

メーカー 挿入 削除

番号	メーカー
1	ヤンマー
2	三菱重工
3	ダイハツディーゼル
4	赤阪鐵工所
5	阪神内燃機
6	新潟原動機
7	ヤマハ発動機
8	イオバツト

機種 挿入 削除

番号	機種
1	YM110
2	YM111
3	YM112
50	

部品管理で、「仕入・庫出」ボタンをクリックすると、仕入、庫出の入力ができます。（図は8ページ）ただし、庫出しは通常日報作成で入力されると思います。

部品の表で部品選択（各部品が表示されている行のどこかをクリック）し「履歴」ボタンをクリックすると入出庫履歴が表示されます。

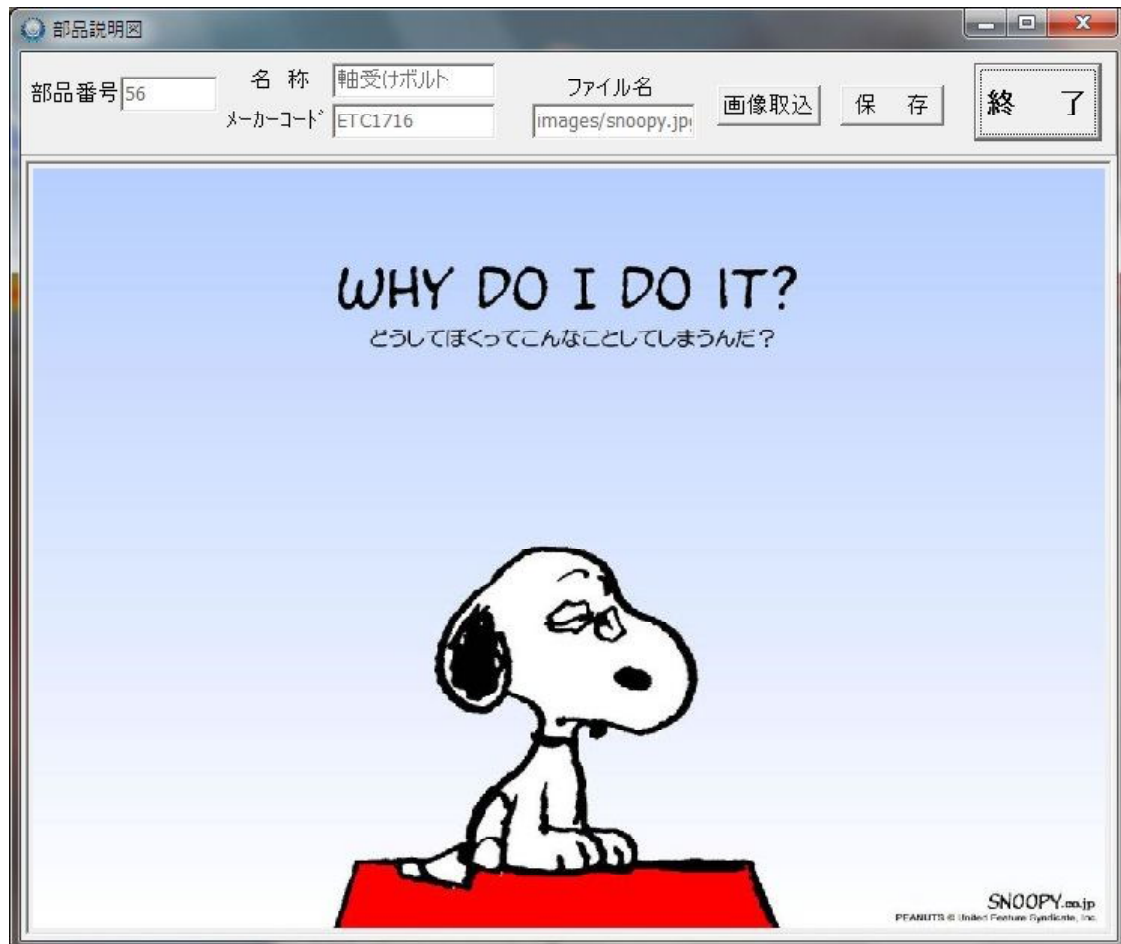
部品入出庫履歴

在庫再計算 終了

部品名 軸受けボルト

入出庫日	入出庫	数量	在庫
▶2009/08/06	出庫	6	2
2009/07/28	出庫	6	8
2009/06/18	出庫	2	14
2009/05/16	出庫	0	16
2009/04/23	出庫	4	16
2009/01/01	入庫	20	20

部品管理の部品表中の図ファイル名の欄をクリックすると部品図ファイル選択ダイアログが表示されますので選択してください。部品図の表示は「部品図表示」ボタンのクリックです。なお、部品図は予め各コンピューター毎にフォルダー「Mesa」の下のフォルダー「images」に保存しておいて下さい。



6) 点検整備記録

左上の対象の欄で定期メンテナンスとSS点検記録を選択します。点検日（前回か次予定）と期間を指定して実施記録・予定を表示します。船主及び記事の内容（定期メンテナンスのみ）で表の表示対象を絞り込むことができます。

新しく報告書を作成する場合は「報告書作成」ボタンをクリック、内容を変更する場合は、表の該当行をクリック・選択した後「報告書変更」ボタンをクリックします。

「点検結果印刷」ボタンをクリックすると報告書のプレビュー画面が表示され、プレビュー画面でメニューの印刷をクリックすることで印刷できます。

定期メンテナンスについては、「MESA 報告データ」をクリックして表のデータが協会提出用のフォーマットでc s vファイル（E x c e l、メモ帳等でも表示、編集可能な標準データファイル）に保存できます。添付ファイルにしてメールで当協会にお送りいただけます。

船主	船名	総トン数	船籍	用途	機関番号	点検日	次回	記事
----	----	------	----	----	------	-----	----	----

定期メンテナンス入力画面では、点検結果は選択または選択欄の右の枠に数字を入力することで行えます。なれてくると、数字入力の方が簡単と思います。

番号	点検項目	点検内容	点検結果	特記事項
1	エンジンオイル	量・汚れ 漏れの有無・圧力確認	良好 1 0	圧力確認結果異常なし
2	オイルエレメント	エンジン用 点検・交換 過給機用 点検・交換 バイパス用 点検・交換	補給 5 良好 1 補給 5	
3	燃料エレメント	汚れ・詰まり	良好 1	
4	防食亜鉛	摩耗量の点検・交換	0	
5	クラッチオイル	量・汚れ 漏れの有無(特にクラッチ下部・オイルシール部)	0 0	
6	油水分離器	ドレン抜き エレメントの点検・交換	0 0	ドレン多し
7	冷却水(清水)	清水量・汚濁・変色の有無(リザーブタンク含) 不凍液(防錆)の割合 加圧テスト:清水ホップドレンパイプからの漏れの有無	0 0 0	
8	海水ポンプインペラ	揚水量 インペラの損傷有無・交換	0 0	
9	キングストーンコック	外観・各部緩みの有無・・・作動確認	0	
10	過給機	プレフィルターの汚れ ロータ軸の間隙(遊び)点検 給気圧力(計)の作動確認	良好 1 清掃 2 0	
11	リモコンワイヤ	取付金具の緩み・遊びの有無 リモコンヘッドの固着・発錆の有無 作動確認(前進・後進の応答性)	調整 3 0 0	

SS整備点検記録は、該当項目にチェック、取替部分のNo等の他、備考の空欄に
適宜記事を記入するようにしてください。記入画面は全部で4ページあります。

点検項目	状況	措置	備考
船主 安達船舶工業 所属 技術部門 点検日 10/02/02 運転時間 船名等 第1安達丸 担当者 田中 達也 次回予定 10/02/02 前回から 10000 時間 総 30000 時間 工事登録 終了 工事区分 中間検査 機関型式 2:M1569 機関計画保全検査の活用 SS制度の活用 保存			
p1 燃料油系～シリンダライナ p2 主軸受け～シリンダカバ p3 シリンダカバ～動力伝達装置 p4 所見、記入要領			
燃料油系統	燃料噴射ポンプ	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> プランジャー摩耗	<input type="checkbox"/> 取替 No
	燃料噴射弁	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> ノズルチップ摩耗	<input type="checkbox"/> 噴射テスト <input type="checkbox"/> 取替 No
	燃料油こし器	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 腐食	<input type="checkbox"/> エレメント交換
	燃料フィードポンプ	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 摩耗	<input type="checkbox"/> シール取替 <input type="checkbox"/> ベアリング取替
潤滑油系統	潤滑油ポンプ	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 摩耗	<input checked="" type="checkbox"/> 歯車取替 <input type="checkbox"/> ベアリング取替
	潤滑油こし器	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 腐食	<input checked="" type="checkbox"/> エレメント交換
	潤滑油冷却器	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> カバー腐食	<input type="checkbox"/> 化学洗浄 <input type="checkbox"/> 垂給取替
	圧力テスト	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 漏れ	試験圧
ピストン	ピストン	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 抜出 No <input type="checkbox"/> 全数 <input type="checkbox"/> クラック No <input type="checkbox"/> リング溝摩耗	<input type="checkbox"/> ピストン取替 No <input type="checkbox"/> 補修 No
	ピストンリング	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> リング摩耗 <input checked="" type="checkbox"/> 折損	<input type="checkbox"/> リング取替
	ピストンピン及び同孔	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> クラック* No <input type="checkbox"/> 使用限度超	<input checked="" type="checkbox"/> ピストンピン取替 No
	ピストンピン外径	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 使用限度超	<input type="checkbox"/> ピストン取替 No
連接棒	ピストンピンメタル	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 摩耗*	<input checked="" type="checkbox"/> 取替 No
	クランクピンメタル	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 摩耗*	<input type="checkbox"/> 取替 No
	セレーション部	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> フレッチング <input type="checkbox"/> クラック*	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 削正
	連接棒ボルト	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> ゆるみ* <input type="checkbox"/> 伸び <input type="checkbox"/> 傷 <input type="checkbox"/> 当たり 使用時間	<input type="checkbox"/> 再使用 <input type="checkbox"/> 取替
シリンダライナ	同 内径	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 傷 <input type="checkbox"/> クラック* <input type="checkbox"/> 抜出 No <input type="checkbox"/> 全数	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> ホーニング <input type="checkbox"/> 目付
		<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 摩耗限度超	<input type="checkbox"/> 取替

6. 宛名のタックシール印刷

納品・請求書、定期メンテナンス報告書の印刷プレビュー画面で、印刷する際に宛名印刷設定で宛名印刷するを選択しておくこと、印刷対象として登録されます。

印刷対象選択画面では、印刷済み・未了、期間（納品・請求日、定期メンテナンス実施日）、印刷対象に対応するものが画面に表示されます。（先に印刷対象として登録したものは印刷未了として表示される。）

置換・追加について、例えば、納品書用と請求書用の宛名を一括印刷するときは、まず、置換を選択し納品用宛名を表示し、次に追加を選択して請求書データを表示させて、納品書用宛名と請求書用宛名を追加します。（置換のままでは、納品書用と請求書用が入れ替わってしまいますのでご注意ください。）

納品書等の登録データ、年賀状等の既印刷データを用いず、一社ずつ登録する場合は、印刷対象個別選択ボタンをクリックして下さい。

選択した宛名の削除は、左端にチェックをして、削除ボタンをクリックして下さい。重複ボタンをクリックすると複数登録されてしまった宛名にチェックが入りますので確認の上削除して下さい。

選択作業を中断する場合は保存ボタンをクリックして下さい。印刷未了データとして保存されます。この際個別に登録したものは印刷対象がその他となります。

印刷プレビュー画面でタックシール用紙の選択が出来ます。2列4行、2列5行、2列6行の3種類の用紙設定が出来ます。

印刷対象選択

読み込み
 印刷済み
 印刷未了

期 09/04 から
 間 09/12 まで

印刷対象
 納品書
 請求書
 定期メンテ
 定期メンテ(次)
 年賀状
 その他

置換・追加
 置換
 追加

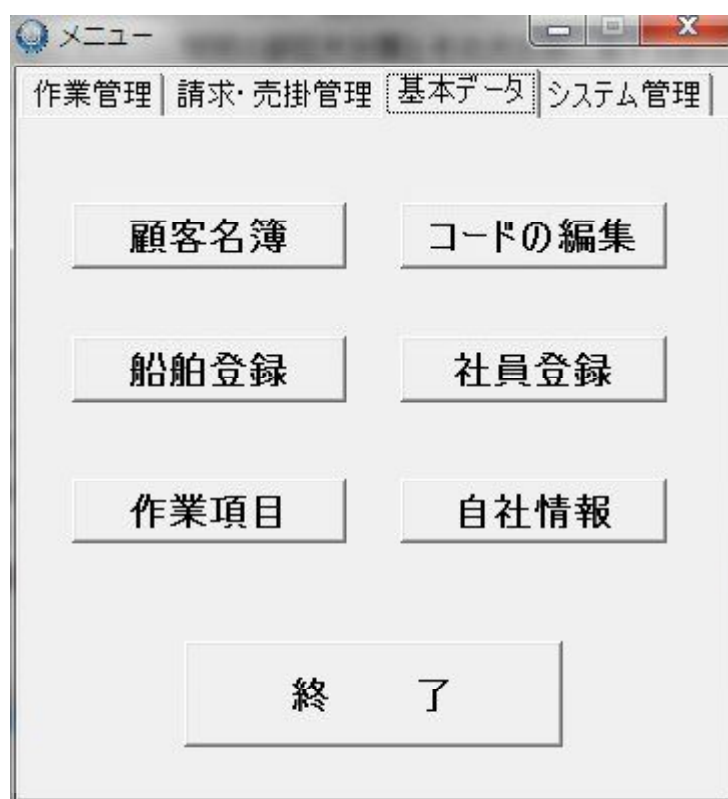
全選択 クリア 印刷 終了
 重複 削除 保存

印刷対象個別選択

番号	内容	宛先	宛名	住	所	登録日
4	請求	(有) 鋸南水産	(代)	安房郡鋸南町吉浜	100-58	09/07/10
11	請求	モーダルソフト社	(代)	山形県遊佐町遊佐字舞鶴	888	09/07/29
3	納品	株式会社 東京海運事業	(代)	江戸川区臨海町	6-2-3	09/07/31
3	定メ	株式会社 東京海運事業	(代)	江戸川区臨海町	6-2-3	09/08/08

7. 基本データの入力

工事登録、日報入力その他このシステムで使用する基本データを登録します。このシステムは、通常のリレーショナルデータベースアプリケーションと同様に、各データにコード（番号）が付けられており、顧客名等の基本データを工事登録などで使用する際は、コードだけで関連付けを行っています。この為、ここの内容を編集すると、これまでに保存したデータも遡って変更されるのでご注意ください。（例えば、顧客名簿で会社名を「新井」から「石田」に変更するとこれまで納品・請求書などで「新井」と表示されていたものが全部「石田」に変わります。従って名称変更があった場合に、古いデータを「新井」のまま表示するためには、「石田」を新しく登録し、住所などの関連データも入力する必要があります。）



基本データ入力メニュー

1) 顧客名簿

工事登録で表示される船主と所属船舶を登録します。船主情報は分類と会社名及び請求書用の住所などを入力すれば、他の作業に支障ありませんが、担当者、電話番号、入金口座などは必要に応じ入力します。このデータは、定期メンテナンス対象船主に通知するためのタックシール印刷などにも使われます。また excel や他の住所録とデータの共有が出来るよう c s v ファイルに書き出すことが出来ます。

検索・絞り込み
分類 北海道 名前(一部で可)

顧客名簿

終了 CSV書出

データ入力後確定ボタンを押して下さい。

分類	番号	会社名
1	1	知床五湖観光
1	2	岩内運輸産業(株)

顧客データ

分類 北海道 番号 1

フリガナ しれとごこかんこう

会社名 知床五湖観光

〒 099-4192

住所1 斜里郡斜里町無番地

住所2

備考

代表者 担当1 担当2 口座1 口座2 口座3

部署

役職 代表取締役 Tel 090

氏名 森繁 久之 Fax

E-Mail

送付先
 代表者
 担当1
 担当2

所属船舶 追加 削除

船名	総トン数	船籍	用途
第1美果丸	19	ウトロ	旅客船

2) 船舶登録

船舶の詳細な要目、工事履歴などのデータを記録、表示できます。ただし、船名以外のデータは入力しなくても他の作業に支障ありません。

新しく船舶を登録する場合は、まず船主を選択し、所属船舶のところの新規船舶ボタンをクリックして行ってください。船名が「新規船舶」として仮登録されるので、正しい船名を入れた後、要目を入力してください。**新規船舶ボタンをクリックせずに入力したデータは保存されないのをご注意下さい。**(顧客名簿の所属船舶の追加ボタンをクリックして船舶登録する場合は予め「新規船舶」として仮登録されています。)

既存の船舶データを変更した場合は、保存ボタンをクリックして下さい。

船舶登録

船舶要目 **新規船舶** **保存** **削除** **終了**

分類 所有者
 全表示 []

主要目 | 主機・補機 | 発電機・軸系・プロペラ | 漁労機・その他

分類	番号	会社名
▶	0	0
	6	2 旭運輸(株)
	2	1 安達船舶工業
	1	5 岩内運輸産業(株)
	5	1 春日井船社
	1	2 蕪島漁業(株)
	3	3 (有)鋸南水産
	7	1 自社
	1	6 知床五湖観光
	3	1 株式会社 東京海
	2	5 夏物語り
	4	3 モーダルシフト社

所属船舶

船名	
▶	[]

船名 [] 船主コード [] **新規顧客**

用途 [] 所属漁協 []

船籍港 [] 保険会社 []

漁船登録番号 []

船舶番号 []

船体識別番号 []

法規 [] 航行区域/従業制限 [CBkuiki]

進水年月日 [] **09/01/01の形式で入力して下さい。**

総トン数 []

長さ [] m × 幅 [] m × 深さ [] m

点検間隔 [] 月

記事 []

機関要目 | 整備履歴

主機

メーカー [] **主機・補機データの変更は、次ページで行って下さい。**

型式 []

合計出力 [] kW 台数 [] 燃料 []

補機

発電用 その他

メーカー [] メーカー []

型式 [] 型式 []

合計出力 [] 台数 [] 合計出力 [] 台数 []

燃料 [] 燃料 []

3) 作業項目

日報入力の際、選択入力するためのデータを入力します。作業部位（大分類）、作業項目（小分類）、作業内容としてデータを入力するようになっておりますが、大分類を部位でなく作業分類（定期検査工事、海難工事）などとしても問題はありません。日報、請求書の作成などを考慮し、実情にあわせて入力して下さい。（請求用データだけでなく棚卸しなど、自社のための作業も入れられます。）

作業部位の番号1はblankになっていますが、消去しないでください。日報の未入力部分で作業部位をblankにするため使用しています。

作業項目編集

変更した場合は必ず保存ボタンを押してください。番号は上から順に付け直します。

作業部位 追加 削除 保存 作業項目 追加 削除 保存 終了

作業部位	番号	作業項目
	1	定期検査工事
定期メンテナンス	2	中間検査工事
主機	3	燃料油系
補機	4	潤滑油系
軸系・プロペラ	5	ピストン、接続棒、シリンダライ
発電機	6	主軸受、クランク軸、カム軸
ポンプ・こし器他	7	冷却水系
操舵機	8	調速装置
	9	換気装置

作業内容 追加 削除 保存

番号	作業内容	標準時間	単価	特記事項
1	ピストン抜き出し	0	0	
2	燃焼面カラーチェック	0	0	
3	計測	0	0	
4	リング取替	0	0	
5	ピストンピン、クランクピン軸受け点検	0	0	
6	接続棒セレーション部探傷	0	0	
7	接続棒、ボルト点検、計測	0	0	
8	シリンダライナ抜出、清掃	0	0	
9	シリンダライナ内径計測	0	0	
10	防食塗装、亜鉛取替	0	0	
11				

4) コードの編集

上の項目名を選択して、表の内容を編集します。

工事区分：工事登録画面で使用します。0：空白～6：予備検査はSS整備点検記録で使っていますので変更しないでください。

船舶用途：船舶登録画面で使用します。1：旅客船～11：その他はSS整備点検記録で使っていますので変更しないでください。

航行区域：同上。1：遠洋～10：第3種まではSS整備点検記録で使っていますので変更しないでください。

船用機関整備士資格：社員登録画面、定期メンテナンス報告などで使用されます。

点検区分：定期点検記録作成画面、定期メンテナンス報告などで使用されます。

点検記号： 同上

顧客分類：顧客名簿作成画面で使用されます。地域別にするなど実情にあわせ変更してください。

組織：社員登録画面などで使用します。実際の組織にあわせて変更してください。

法人格、敬称、端数処理区分、単位分類、機関用途は現在使用していません。

番号	コード名1
1	旅客船
2	フェリー
3	漁船
4	小型漁船
5	貨物船
6	油タンカー
7	ケミカルタンカー
8	砂利船
9	押船(曳船)
10	作業船
11	その他

5) 社員登録

社員登録はシステム管理者にしかできません。表の中に、必要項目（所属 No と Pwd の欄を除く）を入力してください。所属 No は氏名を入力すると左上選択されている部署の番号が入ります。

番号は表示の順を指定します。

資格の欄をクリックすると資格リストが表示されるので、選択します。

権限は 10 がシステム管理者、1 が経理担当者、0 が一般職員になります。ただし、システム管理者については所属、名前の変更はできますが、追加はできません。また、削除するとシステム管理権限を持つものがなくなり、社員登録できなくなりますのでご注意ください。

パスワードの設定、変更はシステム管理者が MySQL を起動しているコンピュータから行わないとエラーになります。表から対象者を選択して、「パスワード設定」ボタンの右の欄に入力した後「パスワード設定」ボタンをクリックします。パスワードは表示されませんので忘れないようにして下さい。変更も同じやり方で出来、変更前のパスワードは不要です。パスワードの欄が「*」となっているものはパスワードが設定されておらず、ログインできません。

番号	所属No	氏名	資格	証明番号	単価	権限	Pwd
▶ 1	2	田中 達也	3級	36587			
2	2	山下 和夫	2級	aaaa	4000	0	
3	2	渡辺 信	3s級		2000	0	
4	2	神田 二郎	1級	124557	5000	0	

6) 自社情報

納品書、請求書に表示するデータです。入金口座は、入金記録の際にも使用します。

自社情報編集

会社名 (社)日本舶用機関整備協会

事業所 本部

〒 101-0033

住所 千代田区神田岩本町4-9
サンディスク神田ビル8階

電話 03-3256-0141 FAX 03-3256-0140

E-Mail mesa@mesa.or.jp ホームページ http://www.mesa.or.jp

口座

銀行名	支店名	口座	番号
三菱東京UFJ	西支店	普通	G123648
三井住友	東支店	当座	31415926
普通	東西支店	普通	1234567890

PR文章

任せて安心舶用機関整備士

終了

8. 各入力画面に共通な事項の説明

数値入力：数値の入力は半角数字だけを入力する必要があります。数値入力欄では数字以外は入力できない様にし、IME（日本語入力システム）も off となるように設定していますが、何かの拍子にIMEが on になり全角入力した場合、数字以外に単位などの文字を入力された場合、正常に保存できません。（カンマは請求書など一部のものに入力できますが、それ以外は入力できません。）

表に表示するデータ：表に表示されるデータは、件数が多い場合スクロールして見ることとなりますが、多過ぎると表の中から目的とするデータを探すのは大変です。このシステムでは50件を超えた場合、原則として50件目以降のデータは表示されません。データが50件以上ある場合は検索、絞り込み機能を使って、表示されるデータを絞って下さい。

検索：船主、船名その他いろいろな条件で検索、絞り込みを行えるようになっています。日にちなどを除き、一部を入力するとそれを含むデータを全部表示します。例えば「山」と入力して検索すると「山本」、「山下」、「栗山」、「石山寺」などが表示されます。検索・絞り込みは「絞り込み」ボタンがあるときは（工事登録画面など）それをクリックした時、リストから選択するときは選択と同時に、船名など一部を入力する場合は文字確定後リターンキーを押すなどにより実行されます。

なお、複数の検索項目がある場合、各欄に入力したものは「and」の条件で検索・絞り込みされます。（全検索・絞り込みに共通）

データナビゲーションボタン（+、-、▲などのボタンが多数横に並んだもの）：データの挿入、削除、編集、確定などの操作を行います。「説明」ボタンをクリックすると各ボタンの機能が表示されます。

カレンダー：日にち入力欄をクリックすると表示され、クリックした日にちが欄に入力されます。ダブルクリックすると消えます。月を移動する場合などでクリックスピードが速いと消えてしまいますのでご注意ください。

月の移動：月を入力する欄の変更は下の◀、▶のボタンをクリックします。1月ずつ移動します。

印刷：印刷用の画面は他の画面と異なりメニューが上についています。納品書・請求書、定期メンテナンス報告書では宛名印刷設定メニューがあり請求書等を印刷する際に、宛名印刷登録するよう設定できます。プリンターの選択は初めて印刷する際に選択画面が出ますが、それ以外の時にプリンターの選択をする場合はプリンター選択メニューを使います。

なお、窓付封筒で請求先が見えるよう請求書の書式の変更したり、ロゴの挿入して会社独自の請求書としたい場合、ロゴの画像ファイル等をお送りいただければ、当協会が実費にて作成致します。(株) ジャイブコンピュータの「Jive Report パーソナル版」を購入していただくと、自社で変更することも可能です。

請求書印刷

宛名印刷設定(W) 印刷(X) プリンタ選択(Y) 終了(Z)

平成21年7月1

請求番号

請求書

請求金額 17,850 円

任せて安心船用機関整備士

〒299-1908
安房郡鋸南町吉浜100-58

(有) 鋸南水産
社長 安田均 様

電話 0470-55-6666 FAX
メ モ

(社) 日本船用機関整備協会
本部
〒101-0033
千代田区神田岩本町4-9
サンディスク神田ビル8

電話 03-3256-0141 FAX 03-3256-0141
E-Mail mesa@mesa.or.jp
URL http://www.mesa.or.jp
振 三菱東京UFJ西支店(普通)0123648
込 三井住友支店(当座)31415926
先 東京ベイ信用金庫東西支店(普通)123456

日付	請求内容	単価	数量	金
	第1大漁丸:検査(指定)			
09/06/15	:定期メンテナンス			
09/06/19	発電機:メガアスト			
09/06/19	主機:潤滑油系潤滑油ポンプ点検整備			
09/06/19	主機:燃料油系全般点検整備			
09/06/19	軸系・プロペラ:プロペラプロペラ付根部カラーチェック			

請求書印刷画面

定期メンテナンス報告印刷

宛名印刷設定(W) 印刷(X) プリント選択(Y) 終了(Z)

定期メンテナンス実施報告

平成21年

(有) 鋸南水産 様

お客様の確認

(社) 日本船用機関整備株式会社
 〒101-0033 千代田区神田岩本町4-9
 サンディスク神田ビル8階
 電話 03-3256-0141 FAX 03-3256-XXXX

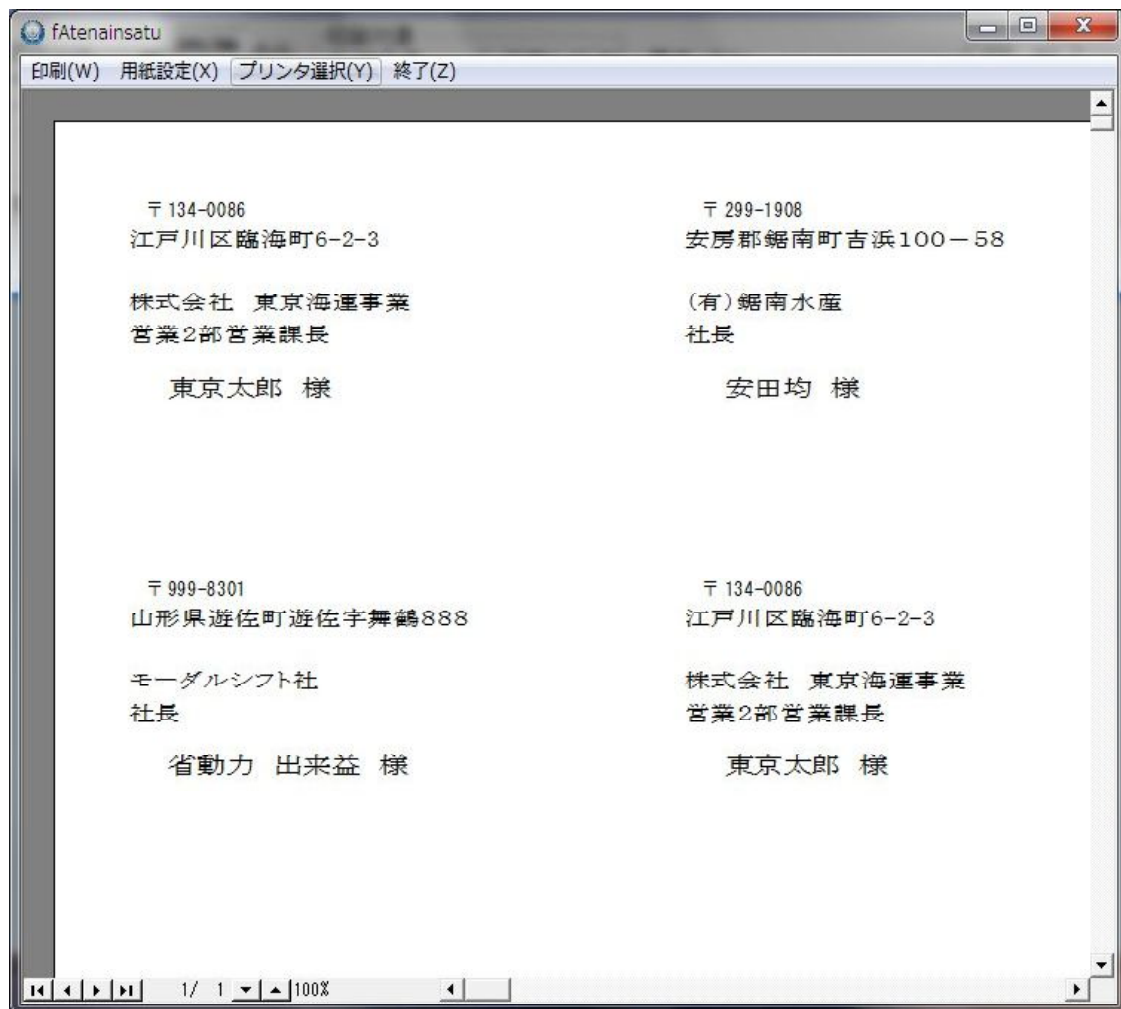
漁船登録番号又はJCI	CB1-54321123		船舶の用途	漁船	航行区域	第1種	法規	JG
所属漁協名	保田漁協	保管港・保管場所	保田港	保田港	保険組合・会社	ああま		
トン数	379.00 トン	船の長さ	48.40 m	納入年月日	明治32年12)			
機関メーカー	阪神内燃機	機関型式	H123456	機関番号				
機関出力	735 kW	使用燃料						
点検区分	検査整備	積算時間	10,000時間					

点検項目	点	検	内	容	点検結果	特	記	事	項
1 エンジン オイル	量・汚れ	漏れの有無・圧力確認						圧力確認結果異常なし	
2 オイル エレメント	エンジン用	点検・交換							
	通器器用	点検・交換							
	バイパス用	点検・交換							
3 燃料エレメント	汚れ・詰まり								
4 防食塗料	塗料量の点検・交換								
5 クラッチ オイル	量・汚れ	漏れの有無(特にクラッチ下部、オイルシール部)							
6 油水分離器	ドレン抜き	エレメントの点検・交換						ドレン多し	
7 冷却水(清水)	清水量・汚濁・変色の有無(リザーブタンク含む)	不凍液(防凍)の割							
	加圧テスト	清水ポンプドレンパイプからの漏れの有無							
8 海水ポンプ インペラ	海水量	インペラの損傷 有無・交換							
9 キングストンコック	外觀・各部ゆるみの有無	作動確認							
10 通器器	プレフィルター	の汚れ							
	ローター軸の間隙(遊び)点検								
	吸気圧力計の作動確認								
11 リモコンワイヤ	取り付け金具の緩み	遊びの有無							
	リモコンヘッドの固着・劣化の有無								
	作動確認(前進・後進の応答性)								
12 バッテリー	電解液の量								
	各部ターミナル部の緩み	腐食の有無							
13 機付駆動用 ベルト	摩耗量・亀裂の有無								

1 / 1 100%

定期メンテナンス報告印刷画面

宛名印刷では用紙設定メニューでタックシールの種類が選べます。



宛名印刷画面

9. システム管理

1) 接続の設定

L A Nで接続した他のコンピューターからアクセスするときに使います。「マイネットワーク」から MySQL を起動したコンピューターの名前を探し、その名前を設定変更の枠に入力し「設定を変更して接続」ボタンをクリックしてください。

なお、「localhost」は、MySQL を起動したコンピューター自身からアクセスする場合があります。

2) データのバックアップ

データの消去など、万一のトラブルに備えてデータをバックアップします。バックアップデータはS Q L文のテキストファイルになりますので、元のデータベースに復元するほか、他のS Q Lサーバーにも使うことができます。ファイルは文字コードが通常 Windows で使われる SJIS ではなく utf8 になっている為、メモ帳では文字が正常に表示されません。必要な場合は、utf8 を表示できるテキストエディタを使い少し加工した後 SJIS に変換すればE x c e l のデータにすることもできます。(フリーのテキストエディタにも utf8 を表示し、SJIS に変換出来るものが多いです。)ただし、セキュリティ面からは大変脆弱ですので保存場所には注意してください。

3) バックアップデータの復元

万一の際に、2) で保存したファイルを使ってデータベースをバックアップしたときの状態に復元します。

10. FAQ

良くある質問にお答えします。この他にご質問があった場合はホームページに回答を掲載するようにします。

Q) 部品販売だけで対象船が無い場合は取り扱えないのか？

A) 取り扱えます。船名の欄をブランクのままにし、工事内容を部品販売とします。(部品販売を船名として登録してもかまいませんが、顧客ごとに登録する必要があります。)

Q) 日報入力では、機関整備だけでなく社内打合せ、棚卸し作業など社内作業もあるが

A) 工事登録で船主名を自社にして登録します。基本データ「作業項目」で「作業部位」に「自社作業」が、その下に「打合せ・会議」他が登録されています。必要場合は項目を変更・追加してください。移動時間など拘束時間として請求に含める場合は「作業部位」の「その他」の下に移動を登録した方が良いでしょう。実情に合わせ工夫してください。なお、自社に対する請求書を作成すると社内作業のコスト管理に役立つと思います。

1 1. その他

このシステムで使用しているデータベース管理プログラム MySQL については、その使用・配布について次の制限がついています。

「もしあなたが MySQL を使ったソフトウェアを開発し、他の人に配布しようとしている場合、それは有料、無料、評価版、製品版にかかわらず、あなたの開発したソフトウェアを GNU GPL に従い配布するつもりがなければ、コマーシャルライセンスの購入が必要となります。」

このシステムはコマーシャルライセンスを購入せず、GNU GPL に従い配布しておりますので、ご希望の方にはプログラムソースを提供し、このシステムの改変、再配布を認めます。プログラムソースが必要な方は当協会にご連絡ください。なお、プログラムは Embarcadero Technologies 社の「C++Builder 2009」、ジャイブコンピュータ社の「Jive Report」及びフリーのコンポーネントを使い開発しており、ソースの編集、コンパイルにはそれらを購入または入手していただく必要があります。

なお、このプログラムの改変、再配布についても GNU GPL に従う必要がありますのでご注意ください。GNU GPL の内容についてはフォルダ「Mesa」→「mysql」→「licenses」の中の「COPYING」をお読みください。

以 上